

今後の区立幼稚園のあり方に係る意見聴取

1 中野区子ども・子育て会議

【主な意見】

- ・区立幼稚園が建替により存続し、質が良くなるのは子育て世帯にとって心強く、喜ばしい。
- ・私立幼稚園の閉園により、幼稚園に通うことが困難な地域もあるが、どの地域に住んでいても必要な支援と場が届くようにしてほしい。
- ・ユニバーサルデザインやインクルーシブ教育を推進することは保護者からするとありがたいが、幼稚園教諭の対応や意識の変革などが必要になることにより、幼稚園教諭の負担や人材確保などの懸念があるのではないか。
- ・区立幼稚園として、幼稚園教育要領を大事にした幼児教育を行い、子どもの今と未来のために力を尽くしてほしい。

2 中野区教育委員会

【主な意見】

- ・全ての子どもたちがわくわくと毎日を過ごせる環境づくりを考えてほしい。
- ・地域や時代のニーズをしっかりと踏まえると、地域の方、保護者の方の期待に応える園になると考える。
- ・中野区は外国籍の世帯が増加傾向にあるという特色があると思うので、その特色を活かした幼稚園のあり方を引き続き検討してほしい。
- ・インクルーシブ教育の推進は重要であり、特別な支援が必要な子どもたちにも柔軟な対応ができるように、使いやすい部屋を設けることも触れているが、その検討もお願いしたい。
- ・新園舎への移転は、園児のストレスが少なくなるような形でしてもらいたい。
- ・幼児教育と学校教育の連携について、連携接続の問題は幼稚園や保育園だけではなく、小学校も含めた共通の課題であると分かるような記載をお願いしたい。

3 学識経験者

- (1) 東京家政大学児童学部児童学科 同大学院 戸田 雅美 教授
一般社団法人 日本保育学会会長

【主な意見】

- ・区立幼稚園が2園であってもモデル的に残ることは非常に貴重である。保育学研究者として、また、一般社団法人日本保育学会現会長として、中野区の公立幼稚園の存続を強く願う。

- (2) 共立女子大学家政学部児童学科 田代 幸代 教授

【主な意見】

- ・区立幼稚園2園は、就学前教育充実と教育政策推進拠点園として、中野区に必要である。区立幼稚園が存続するために、現在の社会状況と保護者の要望を反映した建替整備を実施してほしい。